

ささえあいいね

平田で発見！くらしの中にある宝物



木彫り作品 福山智子氏（平田町）



絵 福山敬之氏（平田町）

発行 2025年3月

平田ふくしのまちプラン実行委員会
平田地区まちづくり協議会

編集

認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江



平田ふくしのまちプラン実行委員会

～みんなが支え合い、安心してイキイキと暮らせるまち平田～

「平田地区に住んで良かった」と思える福祉のまちづくり

平田ふくしのまちプラン実行委員会 会長 古澤 実和子

平田ふくしのまちプラン実行委員会では、福祉を「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」ととらえ、地区のみなさんの声や思いをもとに、地域の福祉活動に取り組み『第3次平田ふくしのまちプラン』を推進しています。

例えば、八日市西小学校と船岡中学校の登校時のあいさつ運動を実施しています。毎月第3日曜日の「カフェゆきのやまとふれあい広場」は、みんなが気軽に集い、楽しみながら、人財が活躍できる機会をつくり、地域の交流の場となっております。まち協若者定住部会と協働し、クリスマスにパンまつりも開催しました。さらに、平田ふくしのまちプラン懇談会では、「ふだんのくらしの中にある集いの場（お宝）発見！」と題して、自治連、地区社協、民児協、まち協等のメンバーが参加し、地区内にある地域のお宝を出し合いました。

今年度の新事業として、東近江市の生活支援体制整備事業第2層協議体運営業務の委託を受け、地域福祉を進めるための基盤を強化するために『地域支え合い推進員』を配置しました。今年度は特に地区内で取り組んでおられるお宝「集いの場」取材させて頂き、その大事さを本冊子にまとめさせていただきました。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

今後も「笑顔の絶えない」地区を目指して頑張ってください!!平田地区の皆さんのご協力を!!!どうぞよろしくお祈りします。



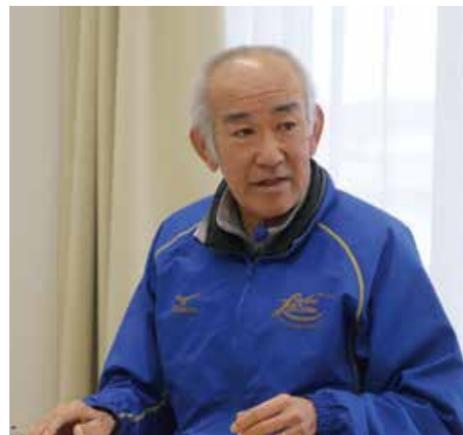
平田地区まちづくり協議会 会長 増田 伊知郎

平田地区まちづくり協議会では、『誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり』の実現に向けた取り組みを推進しております。

人口減少と若者定住、子育て環境、農村環境の保全・後継者不足、少子高齢化など地域の課題は山積しています。そうした課題解決のため各種団体と連携、協力しあい、まちづくりにおける役割を果たし、持続可能な活動を進めていく必要があると考えます。

先人たちの、足跡・歴史をたどりながら、地域住民の個性が尊重され、少しでも先人達に追いつき、追い越すように努力する必要があります。

また、近年では、地震、水害等の自然災害が頻繁に発生しており、災害に強いまちづくりが喫緊の課題です。南海トラフ地震もここ数年で発災することがテレビ報道で話題となっております。「自分たちの地域は自分たちが守る」ことを考えなくてはならない時代となっております。今後は災害に強いまちづくりのために地区の皆様と勉強会も考えていきたいと思っております。まちづくり協議会も地域に根差した取り組みやイベント等を立案し実施してまいりますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



平田ふくしのまちプランとは？

『みんなが支え合い、安心してイキイキと暮らせるまち平田』を目指して…

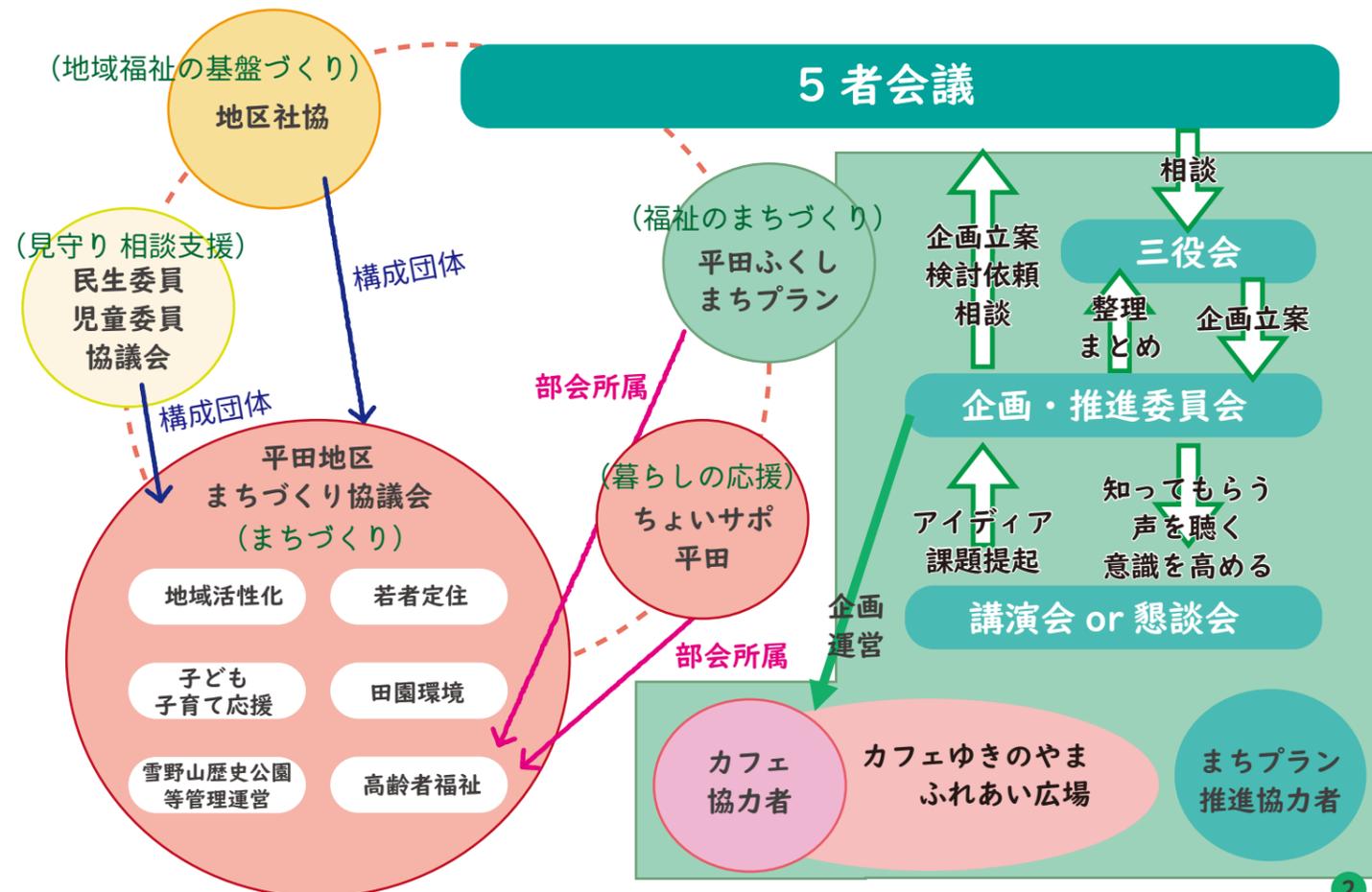
平田地区のみなさんの「こんな地域にしたい」という思いや願い、現状や課題を整理し、平田らしく、平田に必要な福祉のまちづくりを住民の手で進めるための活動計画です。

「あいさつ+ひと声運動」・「交流の場づくりの充実」・「各種団体と共に歩み助け合う」の3つの柱をもとに、人と人との「きずな」や「地域愛」を育み、「平田地区に住んで良かった」と思える共助の地域づくりを進めています。



平田の福祉のまちづくりに必要なことを話し合う 平田ふくしのまちプラン実行委員会 企画・推進委員会

「今、平田に必要なことは何か?」「こんな活動ができたらいいいね」「こんなことやってみよう」などを毎月話し合い、多様な人や団体との協働をもとに、『平田ふくしのまちプラン』が“絵に描いたもち”にならないようにプランの推進に努めています。



令和6年度 平田ふくしのまちプラン 事業報告

😊 実施したこと

年間テーマ	多様な人や団体が集える 交流の場づくり											
年度目標	・「地域のお宝の発見と見える化」 地区内の集いの場を発見し、その大切さや意味が見える化する。 ・「多様な人や団体との協働による交流の場づくりの充実」 趣味や得意を持つ人が活躍できる場、住民が気軽に集いつながれる機会をつくる。											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「あいさつ+ひと声運動」	毎月1回（第3木曜日）西小あいさつ運動 毎月1回（第1水曜日）船中あいさつ運動											
カフェ ゆきのやま	😊	😊	😊	😊	😊	😊	※選挙のため中止	😊	😊	😊	😊	😊
参加人数	20人	28人	45人	24人	29人	44人		21人	64人	36人	57人	71人
「交流の場づくりの充実」 ふれあい広場	レコード喫茶	歴史探訪 ぶらぶら散歩	健康講座	座敷音頭を 楽しもう	龍音 太鼓演奏会	マリサイクル マーケット	※選挙のため中止	歴史探訪 ぶらぶら散歩	ひらたクリスマス パンまつり	抹茶 生け花・真田紐展示	木猫隊演奏会	マリサイクル マーケット
各種団体との連携	←若者や子ども達の声聞く機会づくりの検討→ (まち協若者定住部会とのコラボ企画)											
企画推進委員会	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
懇談会・講演会							懇談会					中学生懇談会 講演会
広報・啓発			第10号発行 広報ささえあい									第1号発行 広報ささえあいいね
	←カフェゆきのやま&ふれあい広場など活動案内・チラシ発行（毎月）→											

令和7年度 平田ふくしのまちプラン 事業計画

😊 実施すること

年間テーマ	多様な人や団体が集える 交流の場づくり											
年度目標	・「地域のお宝の発見と見える化」 地区内の集いの場を発見し、その大切さや意味が見える化し発信する。 ・「多様な人や団体と共に、平田に必要な福祉のまちづくりを考える」 地区住民の声や思いをもとに、『第4次平田ふくしのまちプラン』を策定する											
第3次計画で進める3つの柱	①あいさつ+ひと声運動 ②交流の場づくりの充実 ③各種団体と共に歩み助け合う											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「あいさつ+ひと声運動」	毎月1回（第3木曜日）西小あいさつ運動 毎月1回（第1水曜日）船中あいさつ運動											
カフェ ゆきのやま	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
「交流の場づくりの充実」 ふれあい広場	うたごえ喫茶	健康講座	パンまつり	ひらた食堂	龍音 太鼓演奏会	手品	音楽コンサート	歴史探訪 ぶらぶら散歩	パンまつり	抹茶 生け花・竹灯籠展示	木猫隊演奏会	マリサイクル マーケット
各種団体との連携	← 各種団体の活動を知り、協働できる機会をつくる 5者会議で話し合う機会を持つ →											
企画推進委員会	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊	😊
懇談会・講演会							懇談会			講演会	中学生懇談会	
広報・啓発											第2号発行 広報ささえあいいね	第4次平田ふくしのまちプラン 原案完成
	←カフェゆきのやま&ふれあい広場など活動案内・チラシ発行（毎月）→											
■まちプラン推進に向けて、R7年度に進めていくこと ・第2層協議体の運営、地域支え合い推進員の設置により計画推進の充実を図る。 ・講演会&懇談会の開催（年2回）、中学生懇談会の開催（年1回） ・地域のお宝（集いの場）の発見と見える化、広報「ささえあいいね」の発行 ・地元の人財や資源を活かした「ふれあい広場」の充実 ・第4次平田ふくしのまちプランの策定												

あいさつ運動 + ひと声運動



第1水曜日 7時40分から民生委員と一緒に船岡中学校校門前で、第3木曜日 7時40分から八日市西小学校校門前で、「おはよう。今日も元気に！」など、「あいさつ」の後にプラス「ひとこと」添えて声かけしています。「あいさつ・声かけ」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士をつなぎ、コミュニケーションを広げ深める魔法の言葉です。

あいさつ運動をすることによって、人と人のつながりを深め、信頼関係を築くことができます。また、学校や地域のコミュニケーションが活発になることで、いじめや犯罪の抑止効果も期待できます。あいさつは相互理解や助け合いの心を生み、より良い社会環境をつくるきっかけになるでしょう。

ぜひ皆さんもあいさつ運動に参加して下さい。

中学生懇談会

船岡中学校生徒会との懇談会 ～中学生の平田への思いを聴く～

中学生が日頃どのようなことを感じて暮らしているのか、率直な思いを聴き、中学生も一緒になって、福祉のまちづくりを考えていくきっかけとして懇談会を開催しました。船岡中学校生徒会のみなさんと、平田ふくしのまちプラン・市辺地区住民福祉活動計画を推進する地域のおっちゃん、おばちゃんと一緒にワイワイガヤガヤ意見交換しました。

中学生の声

- ・平田は好き。でも店がない。
- ・住み続けたいけど、一度は都会に出たい。
- ・バンドをしている。地域で披露したい。
- ・1人は嫌だけど、友達と一緒にならできる。
- ・地域の人が声をかけてくれてうれしい。 など



「ふだんのくらしの中にある集いの場（お宝）発見！」

平田ふくしのまちプラン懇談会

平田に住んでいて良かったと思えるよう、福祉を楽しく話し合い、住民が主役の地域づくりを進めていく機運を高めるきっかけとして開催しました。

今回は、自治会長や民生委員・児童委員、地区社協役員、まち協役員など26名が参加。ふだんのくらしの中で、みんなが楽しみながら、何気なく集っている場を「地域のお宝」として、ワイワイガヤガヤ楽しく出しました。また、こういった場が人と人のつながりづくりや見守り合いの機会になっていることを確認し合い、その大事や意義について考えることができました。



参加者の声

自治会の祭りなどのイベントは準備を含めて、つながり合う機会だと思う

まち協役員

ふれあいサロンは、高齢者の元気を確認し合える場になっていると思う

自治会長

近所の仲間で畑を借りている。作業しながらおしゃべりもでき、社会参加の場に

民生委員・児童委員

毎日のようにウォーキングしている人がいる。「見守り・見守られ」につながっている

地区社協役員

営農のつながりは大事。毎日出会うこともある。自分のできることで参加できる機会になっている。

各種団体役員



カフェゆきのやまとふれあい広場

みんなが気軽に集い、何でも話せる場・みんなが活躍できる機会づくり



木猫隊演奏会



リサイクルマーケット



生け花・真田紐展示



レコード喫茶



龍音 太鼓演奏会



歴史探訪「春」



歴史探訪「秋」



座敷音頭を楽しもう



健康講座



パンまつり

毎月第3日曜日 13時より、
平田コミュニティセンターでオープン！

誰もが気軽に集まれる交流の場・仲間づくりの場です。私たちは意識しないと閉じこもりがちになり、家族以外の人と接する機会が激減してしまいます。

孤立や引きこもりの防止につながり、おしゃべりはフレイル予防や認知症予防にも効果的です。

いろいろな人と交流を深め、夢や希望をもっていきいきと人生を過ごしていくため、地域のコミュニケーションの場、カフェゆきのやまにきてみませんか？

地区内外の趣味や得意なことをもつ人財の力を借りて、みんなが楽しめる企画や心とお展示を行い、おいしいコーヒーを飲みながら会話を楽しんでいただける場になっています。お互いを知る事は相互理解や助け合いの心を生み、より良い人生を楽しむきっかけになるでしょう。

ぜひ皆さん、カフェゆきのやまにお越しください。

平田お宝発見!

ふだんのくらしの中で何気なくされている、見守り合いや人のつながりが生まれる集いの場に参加しました。自然で、気楽で、楽しくて、地域の「お宝」だと感じるポイントをたくさん発見できました。みなさんの身近な地域でも、こんな活動いかがですか？

01 サロンで元気を確認

○ 下羽田ふれあいサロン ○

よし笛、モルック、エレキ大正琴、ラジオ体操、健康講座など様々な企画で、みなさん楽しく参加されています。多文化交流として、オーストラリア出身の「ニックさんと英会話で交流」に参加しました。簡単な英語を交えて、みなさん一生懸命お話されていたのが印象的でした。

ふだん近所で出会う機会が少なくなったので、サロンはみんなが顔を見て元気を確認できる機会だと参加者のみなさんが話しておられました。

開催頻度 年6回
主な開催時間 10:00～11:30
開催場所 下羽田町自治会館



○ 鳴谷あったかサロン ○

スクエアステップ、グラウンドゴルフ、音楽鑑賞、おしゃべりタイムなど、参加者とスタッフが境目なく、得意なことを出しあって、サロンをみんなで楽しんでおられます。出前講座の粘土で作品づくりに参加し、作品づくりにまぜていただきました。おしゃべりしながらの楽しい時間でした。

サロンには、参加者同士が声をかけ合い、誘い合って参加されているそうです。普段から声をかけ合っておられるからこそ、自然とできることだと感じました

開催頻度 年9回
主な開催時間 10:00～11:30
開催場所 鳴谷自治会館



○ 平石ほっこりサロン ○

体操やゲームなど手作りで無理なく開催されており、家庭的な雰囲気の中、名前のとおり「ほっこり」できる居場所だと感じました。昔は老人会やグラウンドゴルフなど顔を合わせる機会も多かったようですが、今は毎月のサロンがみなさんの楽しみになっているそうです。公民館まで来られない人はスタッフが迎えに行くなど、日頃から家族のようなお付き合いの深さを感じました。

開催頻度 毎月第1日曜日
主な開催時間 10:00～14:00
開催場所 平石公民館



○ 平田町グラウンドゴルフサロン ○

コロナが流行する以前は月1回サロンをされていましたが、コロナ禍となり屋外でできる活動として、サロンの代わりにグラウンドゴルフをスタート。週1回集まって、グラウンドゴルフを楽しんでおられます。8ホールを3周、身体を動かし、合間の休憩時間や終わってからのおしゃべりタイムが大事で、グラウンドゴルフをしない人も時々話にこられるそうです。

週1回を出会えることを楽しみにされており、互いを気にかけている姿が印象的でした。



開催頻度 毎週水曜日
主な開催時間 8:30～11:00
開催場所 大宮神社



02 健康づくり・趣味・得意で集う

北方まちリハ

まちリハは、自身の体の状態を知り、フレイル予防や介護予防について学び合い、活動する場づくりを目指す教室です。60歳代から80歳代まで幅広い年齢の方が参加されており、みんなで元気を維持する場になっています。

毎回の体操や健康のお話もですが、特におしゃべりが楽しいそうです。ふだんデイサービスを利用されている方も来られています。今回はモルックで身体を動かされていました。ワイワイガヤガヤが何より健康に良いことを感じました。近所でみんなと健康づくり！いいですね。



開催頻度 毎月1回
開催時間 10:00～11:30
開催場所 上羽田町北方公民館

野端クラブ

元々は一緒に野球をしていたメンバーで立ち上げられました。野球を辞めた後、卓球などで身体を動かされていたそうですが、今は健康麻雀で頭と口の体操。こたつを加工した麻雀台を製作されており、手作りで楽しめる居場所になっています。ここに来ると1人では得られない情報交換ができ、メンバーの元気を確認し合える機会にもなっているそうです。カレンダーの予定が埋まるのがうれしくて、この麻雀の場が生きがいと話されていました。

麻雀をやりたい人は、どなたでも参加OKです。



開催頻度 毎月第1・3火曜日
主な開催時間 13:00～17:00
開催場所 平田コミュニティセンター

竹細エサークル

12月に竹林を整備し、1年分の竹灯籠に使用する竹を準備します。人によって年間作る量は変わってきますが、ご自身の好きな絵柄をネットで探し、竹に写して作品を仕上げていきます。顔の表情をつくるのがやっぱり一番難しい。目の形などで、作品の表情が変わるからだそうです。難しい作品ほどやり遂げた時の達成感がすごいとおっしゃっています。

市内の65歳から90歳まで幅広い方々で活動されていて、作品は市内の図書館や「よしまつり」などに展示されています。

ご興味のある方、市内の方ならどなたでも参加OKです。



開催頻度 毎月第2・4水曜日
主な開催時間 13:00～15:30
開催場所 平田コミュニティセンター

平田地区 生け花教室

池坊生け花教室です。先生を中心に和気あいあいとにぎやかに、いろんな地域の方が参加されています。家の玄関や部屋に飾る花を生けています。お花を飾るだけで家が華やかに明るくなります。自分の感性で生けていきますが、お花と相談しながら、季節感も大事にして明るく楽しく生け花をしています。

基本の形はありますが、初心者から誰でも参加できます。

ご興味のある方は一緒にお花を生けてみませんか。

開催頻度 月2回
主な開催時間 9:00～11:00
開催場所 平田コミュニティセンター



おしゃべり喫茶 わ茶わ茶



上平木町のみなさんが気楽に 100 円のコーヒーやお茶を飲みながら、ワイワイガヤガヤおしゃべりを楽しんでおられます。平成 27 年から有志でスタート。コロナ禍でしばらくはお休みされていましたが、地域のみなさんの再開を望む声により、令和 6 年 7 月から再開されました。

昔は毎日のように隣近所の居間や縁側でお茶飲みをされていましたが、だんだんと少なくなり、今ではわ茶わ茶が地域の縁側になっています。姿が見えない人は誘いに行ったり、この場があることで気かけ合う関係が生まれていました。



南方いきいきラジオ体操

休日以外の毎朝、ご近所同士でラジオ体操とオリジナルの体操をされています。暑い夏、寒い冬でも雨の日以外はやっているそうです。ラジオ体操をすることによって、規則正しい生活ができ、集まったみんなの顔を見て、世間話や情報交換ができる大事な時間になっているそうです。

集まった皆さんと時々お茶会などもして、この集まりが 1 日の始まりであり、元気の源になっているとみなさん話されていたのが印象的でした。

どなたでも参加 OK です。一緒にラジオ体操してみませんか。



開催頻度 毎週月～金曜日
主な開催時間 6:30～7:30
開催場所 参加者宅

開催頻度 毎月第 1・3 水曜日
主な開催時間 10:00～11:30
開催場所 上平木町公民館

平田 人財発見

西村操さんの紹介

昔おじい様がいらっしゃった 100 年ほど前から地元で始められた伝統工芸品をお母さまから引継ぎ、今現在、手織り真田紐が織れる職人さんは、全国で西村操さんおひとりです。

西村さんは、小さいころからいつも工房で見ていたこともあり、見よう見まねで織ることはできたそうです。母親の跡を継ごうと思ったのは、50 代に入ってから。55 歳の時に自身の事業を閉め、本格的に始められました。

父親から染め、母親から織りを学び、今の自分があるそうです。糸の染めもご自身でやっておられます。その時の温度や染料の量で同じ色は二度と出せないそうです。このような貴重な真田紐は大量生産ができません。滋賀の伝統工芸品の一つであり、過去には、上皇后(美智子様)の婚礼の桐箱に付ける紐として使用されました。

機会があれば、魅力的な手織り真田紐をぜひご覧ください。



真田紐とは？

中国から日本の宮中に伝わったと言われる組紐に対し、庶民・武士が常用したのが真田紐。縦糸のみで「組む」組紐は構造的に伸びやすいのに対し、縦糸と横糸を機で「織る」真田紐は非常に実用的でした。

平安・鎌倉時代の武将は宮廷色の強い、飾りの多い甲冑を身に着けていたが、庶民や地方豪族を出自とする武将が登場した戦国時代には、真田紐など一般庶民の生活用具を甲冑に使用することにより、より動きやすく実戦的となり、これが結果的に戦国時代における勝敗を左右し、ひいては時代の変わり目の一因となりました。全国各地の武将が軍需物資として製作・使用し、天正伊賀の乱以前の伊賀国では忍び達の農閑期の作業として真田紐作りが行われていました。忍びの道具としても用いられたり、薬や真田紐の行商人は各屋敷や城にも怪しまれず出入りが可能であり、商売を隠れ蓑に内偵したりしたと伝わっています。しかし、伊賀の乱以後は組紐作りに転じていったが、今現在も手織り真田紐は滋賀県東近江市の西村家でその技術は受け継がれ織られています。(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より抜粋)

編集後記

平田地区の皆様、“ささえあいね”をお読みいただきありがとうございました。

平田ふくしのまちプラン実行委員会は、「カフェゆきのやま」「あいさつ+ひと声運動」「くらしの中にあるお宝発見」など、各種イベントや活動を実施してきました。

地区の皆様には、楽しんでいただいたのではと自負しています。令和 6 年度の最大のイベントは何とんでも「ひらたクリスマスパンまつり」。当日はとても寒い日になりま

したが、多くのみなさまにご参加頂きました。小さいお子さんを連れた家族から、年配の夫婦や若いカップルと様々な世代に楽しんで頂けたことは、まち協と共に企画した私たちにとって何よりの喜びでした。

今後もいろいろな企画を予定していますので、ぜひ多くの方に参加して頂けたらと思います。

末尾になりましたが、ご協力いただきました皆様及び各種団体の方々に心より感謝申し上げます。